

開館三十五周年記念特別展

鍋島焼

—二百年の軌跡—

2022年4月1日(金) — 7月18日(月・祝)

◎開館時間

10時00分 — 17時00分 (入館は16時30分まで)
※金曜・土曜は10時00分 — 20時00分 (入館は19時30分まで)

◎休館日

月曜・火曜休館
※5月2日(月)・5月3日(火・祝)・7月18日(月・祝)は開館。

◎入館料

一般1200円 / 高大生500円
※中学生以下は入館料無料。

◎交通

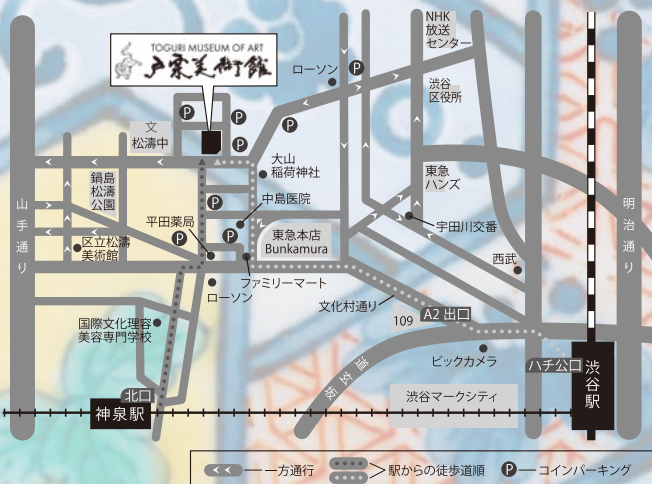
渋谷駅ハチ公口より徒歩15分
地下鉄A2出口より徒歩12分
京王井の頭線神泉駅北口より徒歩10分
※当館には駐車場はございません。
近隣のコインパーキングをご利用ください。

※ご来館の前に、必ず当館ホームページにて最新情報をご確認ください。
※マスク着用やご入館時の検温、手指消毒にご協力をお願いいたします。
※会期や開館時間等は、予告なく変更となる場合がございます。また、入場および観覧に際し、制限・制約やご協力をお願いする場合がございます。

〒150-0046
東京都渋谷区松濤1-11-3
公式ホームページ
<http://www.toguri-museum.or.jp/>
電話 03-3465-0070



@toguri_museum
@toguri_museum



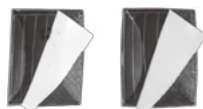
鍋島焼 —200 年の軌跡—

2022 年 4 月 1 日 (金) — 7 月 18 日 (月・祝)

2022 年、戸栗美術館は開館 35 周年を迎えます。開館以来、陶磁器専門美術館として所蔵品によって展覧会を企画してまいりました。当館の所蔵品のうち、大きな一画を占めているのが鍋島焼です。精巧に作られた磁器であり、当館創設者 戸栗亨が好んで蒐集したやきもののひとつです。

鍋島焼は、江戸時代に肥前国佐賀地方を治めた佐賀鍋島藩より徳川将軍家への献上、あるいは幕閣や公家、大名家などへの贈答品として用いられました。領内の有田では 17 世紀初頭に日本初となる国産磁器である伊万里焼の焼造がはじまっており、それを基に、17 世紀後半には鍋島焼が誕生。伊万里・大川内山に鍋島藩窯が築かれ、17 世紀末期には盛期を迎えました。しかし、18 世紀前期以降は倭約令のあおりを受けて色絵はほとんど製作されなくなります。18 世紀後期には将軍からの要望により新たな器形やモチーフが登場するなど変化を見せますが、19 世紀後半、鍋島藩窯は歴史に幕を下ろしました。

今展では、江戸時代の約 200 年間に及ぶ鍋島焼の歩みを、盛期を中心に、成形や装飾の技法、技術に注目してご紹介いたします。佐賀鍋島藩が威信をかけて製作した鍋島焼、約 80 点をご堪能ください。



瑠璃釉軸染付金銀彩 草子形皿
鍋島
江戸時代 (17 世紀後半)
口径 13.5×11.2 cm



色絵 毘沙門亀甲文皿
鍋島
江戸時代 (17 世紀末～18 世紀初)
口径 20.1 cm



染付 牡丹文皿
鍋島
江戸時代 (18 世紀中期)
口径 32.6 cm



染付 蝶文捻花皿
鍋島
江戸時代 (19 世紀)
口径 21.0 cm

同時開催

第 3 展示室 江戸時代の伊万里焼—誕生からの変遷—

江戸時代初頭に誕生した伊万里焼は、技術の発展や時代の変化に合わせて様式も移り変わっていきます。製作技術の発展や社会情勢の変化をご紹介しつつ、年代毎の様式の変遷を追いながら江戸時代の伊万里焼を通観いたします。

やきもの展示室 中島瞳作品展

第 55 回西部伝統工芸展入選の「染付連環文蓋物」(右写真)のほか、花瓶や大皿など、幾何学文様で隙間なく絵付けを施した作品を展示いたします。鍋島焼の装飾や有田の伝統文様を元にしながらも、異国的な雰囲気すら漂う意匠をお楽しみください。



本展覧会会期中の催し物のご案内

ラウンジトーク「鍋島焼入門」

1 階ラウンジにて、スライドや陶片などを使って鍋島焼鑑賞のいろはをご紹介します。入館券をお求めの上、ご自由にご参加ください (予約不要)。

■ 6 月 18 日 (土) 10 時 15 分～ (約 45 分)

■ 先着 20 名様 ■ 参加費無料

ラウンジトーク

『鍋島焼—200 年の軌跡—』の見どころ

1 階ラウンジにて、スライドを使って展覧会の見どころをご紹介します。入館券をお求めの上、ご自由にご参加ください (予約不要)。

■ 5 月 28 日 (土)・7 月 6 日 (水)

各日 10 時 15 分～ (約 45 分)

■ 各日先着 20 名様 ■ 参加費無料

ラウンジ & ギャラリートーク

「鍋島焼の歴史と変遷—技術・技法を中心に—」

前半は 1 階ラウンジにて鍋島焼の歴史や変遷をご紹介します、後半は 2 階展示室にて展覧会の展示解説を行います。

■ 6 月 27 日 (月) 14 時 00 分～ (約 120 分)

※終了後は 17 時 00 分までご観覧いただけます。

■ 先着 20 名様

■ 参加費 1,800 円 (税込) (入館券を別途お求めください。)

■ ご参加の方には鍋島焼小図録 (2022 年 4 月新刊) を贈呈いたします。

■ 要事前予約

※下記予約サイトからお申込みください。

(受付開始 4 月 1 日 10 時 00 分～)

《ラウンジ & ギャラリートーク予約サイト》

<https://airrsv.net/toguri-reserve/calendar/>



アート&イート 戸栗美術館 × シェ松尾

戸栗美術館にて鍋島焼をご鑑賞いただいた後、シェ・松尾松濤レストランにて佐賀県産の食材を使ったフレンチをご堪能いただけます。

■ 4 月 29 日 (金・祝)～5 月 3 日 (火・祝)、5 日 (木・祝)

■ 10 時 20 分 戸栗美術館集合

10 時 30 分 作品鑑賞会と学芸員による解説/自由観覧

12 時 00 分 シェ松尾に移動/ランチ

14 時 00 分 解散予定

※現代のやきもの作家・中島瞳氏による角形小皿のお手土産がございます。

■ 佐賀県産の食材を使った特別メニューをご提供いたします。

※ワンドリンク付 (シャンパン又はノンアルコールスパークリング)

■ 各日先着 10 名様 ■ 参加費 17,500 円 (税込)

■ 要事前予約

※下記予約サイトまたはお電話 (03-3465-0086 / 専用回線)にてお申込みください。

※アレルギーやご不明点のある方は、お電話にてお問い合わせ・お申し込みください。

《アート&イート 戸栗美術館 × シェ松尾予約サイト》

<https://airrsv.net/toguri-event/calendar/>

